

悠久

第 29 号



雲南省 西双版纳タイ族自治州

本号の内容

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ① 多文化社会到来の足音 | 岡山外語学院 学院長 片山 浩子 |
| ② 中国政府日本教職員招へいプログラムに参加して | 総社市立山手小学校 校長 上岡 仁 |
| ③ 岡山と中国の友好の象徴・後楽園の鶴 | 岡山県日中教育交流協議会 事務局長 松井 三平 |
| ④ 日本に来てよかった | 岡山大学中国人留学生 邵 婧 |
| ⑤ 協議会事務局からのお知らせ (事務局) | |

June
2009

多文化社会到来の足音



岡山外語学院 学院長

片山 浩子

「日本語を勉強し、日本の大学に入り将来は社長になりたいです。」「医者になりたいです。」「日本語の先生になって故国の子供たちに日本語を教えたいです。」など、入学式の日、つたない日本語で目を輝かせて夢を語った学生たち、弊院三百人の外国人学生のうち九十八%が日本の大学院や大学、専門学校に進学します。将来は日本で働きたいと思っています。一九九二年以来卒業生も千七百名を超え多くの卒業生がすでに日本で働いています。

現在留学生は全国で約十三万人、就学生（日本語学校生約四万二千人弱、昨年政府は「留学生三十万人計画」を発表し二〇二〇年までに留学生を今の倍以上の三十万人まで増やす計画です。

岡山市の外国人登録者数は昨年十一月末初めて一人を越え一万四人になりました。市内人口の一・四%、十年間で一・五倍に増え市民七十人に一人の割合です。国籍別は中国人が約半数を占め、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジル、ベトナムと続き、世界七十五カ国から来ています。

全国では二〇〇七年の外国人登録者数は二百十五万人で岡山県の人口は二百万人弱ですから岡山県の人口より多いということになります。

日本は一九七〇年以降少子高齢化の道をたどってきており、二〇〇六年以降は人口減少に転じました。対応策として女性や高齢者の活用、外国人労働者の受け入れなどが考えられてきました。

全国的にみても日本で働いている外国人、例えば専門的技術分野で働く人たち、留学生就学生でアルバイトをしている人、研修・技能実習生、日系人、介護士看護師など外国人労働者は確実に増加しておりそれも滞在が長期化の傾向にあります。

この傾向に対し日本人の雇用問題や犯罪の増加など否定的な意見も少なくありませんが、流れとしてこれからは受け入れざるをえませんし産業構造も変わってくるでしょう。

う。この問題に関して世界の国でお手本になるところはないといわれています。方程式のない世界です。外国人労働者の受け入れは日本の国体を考え日本はどんな国になるのがよいのか百年先を見て国家百年の計を持って方針を考えなければならぬと思います。

日本語を学ぶ人も増えて世界百三十三カ所の国と地域で二百九十八万人の人々が勉強しています。

いまや外国人留学生を含めた外国人労働者は、決して特別な存在ではなく私達と同じ日本で生活する人たちです。これからはもつと多くの外国人がそれぞれの文化を持って私達と一緒に生活していくことになるでしょう。

適法に受け入れた以上、社会の一員として「生活者としての外国人」「ともに生きていく隣人」として共に生き、協働し一緒に働き、共創する、ともにそういう社会を作り上げていく、そういう時代が近づきつつあるのではないかと思います。多文化社会の足音が確実に聞こえてきているように思えます。

しかし生活者としての外国人にとって日本の社会はまだまだ暮らしにくいことがたくさんあります。まず日本人と同じような住民サービスを受けられるようにすること、共生できる生活基盤を整備することだと思えます。社会保険未加入などの社会保障や医療の問題、日本語学習の困難から不就業など子弟の教育問題、不安定な雇用などの労働環境、生活環境の問題などがあります。

解決すべき問題山積みですが、地方自治体など行政やボランティアの人たちの地道な努力で、例えばNPO法人岡山市日中友好協会の「ゆるやかなネットワーク」づくりなど様々な取り組みが行われ、対応もよい方向に少しずつ進んできています。異文化理解、異なる文化を理解すればよい時代から多文化共生、異文化を認めながら一緒に生活していく時代に入ってきたと思います。



中国政府日本教職員

招へいプログラムに参加して

総社市立山手小学校

校長 上岡 仁

一 はじめに

二〇〇八年六月十四日(土)から二十二日(日)まで、二十三人の団員の一人として中国政府日本教職員招へいプログラムに参加しました。この事業は、(財)ユネスコ・アジア文化センターが実施される中国教職員招へいプログラムに対応するものであり、前年度に中国教職員の受け入れを行った日本の自治体の教育関係者を中国政府が招へいするものです。今回のプログラムの目的は、主として北京市と青海省での学校視察を通して、中国における教育の現状と課題等を学ぶことでした。

二 視察の概要

(一) 北京市での視察

① 中国教育部

教育部を表敬訪問し、四川大地震による犠牲者に対して黙祷を行った後、団員から募った四川大地震への募金を国際交流局の劉副局长に渡しました。続いて、基礎教育局課程発展課の沈課長から中国の基礎教育制度について説明を受けました。概要は、①現在、全国に小学校が一億一千万校、中学校が六千万校、高校が二千万校あり、高校は基礎教育の一部であること、②九年の義務教育制度であること、③カリキュラムは、

国家制定が八十%であり、残りの二十%は地方制定または学校制定であること、④教科書は検定制を採用していること、⑤教科書の無償給与制度を制定し、一部の都市ではすでに無償給与を実施していること等でした。

② 北京市月壇中学

月壇中学は、北京市で唯一日本語教育を行っている中学校です。張校長から学校概要の説明を受けた後、生徒の主体的な運営による集會に参加させていただいたり、日本語の授業を参観させていただいたりしました。日本語の授業は、カラオケを題材にした教科書教材の音読と読解、会話を中心に進められ、生徒は流暢な日本語で自分の考えなどを発表していました。

③ 北京市第三十五中学

第三十五中学には、中国指導部に多くの卒業生がいます。朱校長から、知識を教えるだけでなく、伝統文化、体育や科学等を重視するとともに、総合実践科にも力を入れて、個性の伸長に努めているなどの説明を受けました。その後、初級中学の総合実践科の授業を参観させていただきました。生徒は、ロボット、手芸、アニメーション、文学、料理、生物など二十のグループに分かれて学習を行っていました。高級中学では、同

ることができ、この上ない交流の機会となりました。



第三十五中学の楽団演奏

校の民族楽団が民族音楽や日本の「さくら」を演奏してくださいます。音楽を通して心を一つにする

(二) 青海省での視察

① 西寧市教育局

薛局長から西寧市の教育事情について説明を受けました。概要は、①西寧市は二千年の歴史があり、三十四の民族の宗教や文化が融合して発展してきたこと、②大学八校、中学(初級、高級)八校、職業中学八校で、生徒数千六万人、教員数八万人であること、③学校の施設設備の充実を図ってきたこと、④今後の方針は、基礎教育の課程改革を行い、個性、自主性、創造力などを育成することや、師範大学での研修により質の高い教師の育成に努めること等でした。

② 西寧市第三中学

第三中学は、青海省級の標準化学校であり、施設設備は充実していました。劉校長から、知・徳・体の調

和のとれた資質教育のほか環境教育にも力を入れているなどの説明を受けた後、高級中学一年生の「世界のお祭り」を題材にした英語の授業を参観させていただきました。インタラクティブとタスクを中心とした素晴らしい授業であり、生徒のコミュニケーション能力も高く、大変参考になりました。

③ 西寧市行知小学

行知小学は、中国の教育哲学者である陶行知の理念に基づいて創立された西寧市級の標準化学校です。曲校長から、資質教育のほかIT教育や英語教育にも力を入れているなどの説明を受けました。施設設備は充実しており、授業中の生徒の様子を観察したり、教師の授業を評価したりするためのモニターテレビ室もありました。生徒は、独楽回し、歌や民族舞踊、武術、習字を披露して、団員を歓迎してくださいました。

④ 青海省特殊教育学校



西寧市行知小学

熊校長から、青海省人民政府により許可を受けた全日制・寄宿制の特殊教育学校であり、青海省の特殊教育学校の教師



行知小学の生徒たち

にも、生徒一人ひとりに技術を身に付けさせ、社会に貢献できる人材の育成に努めているとのことでした。授業参観のほか、寄宿舎も見学させていただきました。

⑤ 互助土族自治县民族中学

寄宿制の中学（初級、高級）であり、土族、チベット族、モンゴル族、回族などの少数民族と漢族の生徒がいます。邵校長から、標準化学校や緑色学校（緑化キャンパス）の認定を受けていること、資質教育のほか民族教育に力を入れていること、大学進学率は互助県でトップクラスであることなどの説明を受けました。授業参観のほか、団員が生徒と懇談する機会を設けていただき、有意義

き、有意義



互助土族自治县民族中学

を教育する学校であるなどの説明を受けました。また、国家が規定するカリキュラム以外

な交流ができました。学校の良いところは何かとの質問に、生徒は熱心な教師、学費等の免除、充実した施設設備だと答えていました。また、教師の教え方が良いから学校の勉強は好きだとも話していました。

⑥ 林川郷水洞小学

水洞小学は、青海省から低所得地区の学校として認定されています。厳校長の挨拶の後、女性教師から、教室は崩壊の危険性が最も高い建築物と指定とされるほど老朽化が進んでいるが、修繕や新築する資金がないこと、冬は室内の温度は外気と同じ零下二十五度にもなること、雨天には雨漏り対策のため教師がビニールシートを屋根にはり付ける必要があることなどの説明を受けました。事実、机と椅子、黒板、トイレ以外の施設設備はほとんどないという状況でした。団員の提案により、教育施設等の充実に役立てていただく目的で、団員から寄付金を募り、厳校長に渡しました。別れるとき、生徒、教師、近くの住民たちは、団員が見えなくなるまで手を振って見送ってくださいました。

行うことで、中国における教育の現状と課題等を多面的に把握することができました。義務教育については、教育改革により徳育を重視して資質教育を進めていることや、個性を重視した教育を特色ある学校づくりの中で推進していることが分かりました。地域によっては、施設設備などの整備が遅れ、教育格差が大きいという課題も把握することができました。大学進学に係る課題としては、社会全体で学歴が重視されているため、過熱化した受験競争が続いていることも分かりました。

全体的な感想として、中国の生徒の目の輝き、澀刺とした表情、高い学習意欲、生徒と教師との深い信頼関係、質の高い教育内容と優れた指導方法など、私達が学ばなければならぬことの方が多く感じました。中国の教育立国を目指す勢いと質の高さを目の当たりにして、若干の焦りを感じたのは私だけではないと思います。今回の視察は、日本の教育、自校の教育を見つめ直す良い機会となりました。

なお、今回の訪問を契機として、西寧市行知小学と本校で作品交流を行っています。

三 終わりに

今回の視察では、都市部の先進的な学校だけでなく、農村部も含め、複数の地域で複数の学校種の視察を

岡山と中国の友好の象徴・後楽園の鶴

岡山県日中教育交流協議会

事務局長 松井三平

■岡山と中国の友好の先駆者

岡山と中国の友好史上、郭沫若、内山完造、岡崎嘉平太の三人が果たした役割は大きい。年代的には郭沫若と内山完造が戦前から一九六〇年代にかけて主に活躍していたの对比、岡崎氏は一九七二年の国交回復前後に活躍しており、年代的には若干の差がある。今年に入って、五月末に内山完造没後五十周年事業が井原で開催され、六月五日からは岡山県立美術館で郭沫若展が開催されるなど、期せずして日中友好の懸け橋の両人が相次いでクロースアップされた。本稿では、郭沫若氏の計らいで、岡山県後楽園に中国から丹頂鶴が贈呈されたいきさつについて、紹介したい。

■中国学術視察団のいっ

一九五五年岡山県の招待で、「中国学術文化視察団」が来岡した。この訪日団の団長を務めたのが、当時中国科学院の院長だった郭沫若氏だった。郭氏は第一高等学校の予科で学んだあと第六高等学校に進んだが、当時、東京の聖路加病院に勤務していた佐藤おとみさんという看護婦さ

んと恋愛関係になり、子供をもうけ岡山で事実上の夫婦生活をしており、岡山には深い思い出を残していた。六高時代、郭氏は後楽園を通り、通学していたが、当時後楽園には多くの丹頂鶴が放し飼いにされていて、入園者の目を楽しませていた。

一九五五年に岡山を再訪した時、世界大戦で鶴が死に絶え、一羽もいなくなっていることを知った郭氏は、三木行治岡山県知事の要請を即座に受け、中国の黒竜江省にいた丹頂鶴をツガイで贈呈することを約束した。岡山ホテル（現在の天満屋前あたりにあった）で開催された歓迎会の席上、即興詩をつくり、後にその中の一首が後楽園の詩碑として今日に残っている。

その仲立ちをしたのが当時の日中友好協会岡山県支部であり、協会の事務局長であった中西寛治さんである。当時は日中の国交がなかったために、あらゆる交流は民間友好団体が主導で行われていた。

■中西寛治さんのいっ

中西さんは、岡山県矢掛町の出身で、一九四九年に、岡山に全国で初



郭沫若詩碑建立式で
建立経過報告をする中西寛治氏

めて「日中友好協会」の看板を掲げた人である。当時の友好協会の初代理事長が内山完造さんであったことから、岡山に最初に友好協会の支部が設立され、同時に初代事務局長に就任している。その後、中国に残留していた日本人の帰国運動、玉野などにのこっていた中国人の無縁仏の遺骨送還をはじめ、内山さんの秘書役として県内の友好行脚を実践していた。そして郭沫若氏を団長とする「中国学術視察訪問団」（一九五五年）の歓迎実行委員会の事務局長を務め、後楽園の鶴寄贈の仲立ちをし、後に郭沫若氏の即興詩を詩碑として残すための運動（郭沫若氏詩碑建立実行委員会事務局長）を推進した。また、郭沫若氏の招聘を受けた岡山県学術視察訪中団の秘書長として、中国政府とのやりとり、渡航の手続き関

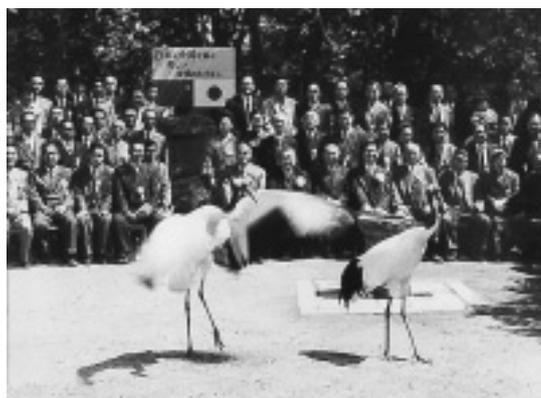
係など事務手続きの一切をとりしきった。この訪問団の内容や成果などについては別稿に譲ることとする。

■贈呈された鶴は二羽とも雌だった。

贈呈された二羽の丹頂ヅルは目の色から「クロメ」と「チャメ」と名づけられ、大切に育てられていたが、子供が生まれないことに疑問を持ち専門家に見てもらったところ、二羽とも雌だということがわかり、後に北海道の釧路にいた鶴とかけ合わせ、やっと子供が生まれた。いまでは、六十羽以上に増えていると聞く。

■動物の贈呈第一号？

一九七二年の日中国交回復の時、当時の中国総理周恩来首相は記念にパンダ二頭を田中角栄首相に贈呈した。いわゆるパンダ外交の幕開けである。しかし、パンダ贈呈からさかのぼること一七年前にすでに鶴の贈呈が行われていたことは大変興味深い。岡山市日中友好協会ではこの鶴を日中友好の象徴として伝えていくため、日中国旗の間に鶴をあしらった会員バッジを作成し、普及に努めている。



郭沫若詩碑建立式で放たれた2羽の鶴

「後楽園と丹頂鶴」

一九五六年七月三日午前、中国からの第十三次引揚船「興安丸」が日本の京都府舞鶴港に入港した。船上には三百三十五名の中国政府から赦免された「戦犯」の日本人とは別に、特別な「旅客」・・・中国東北地方から来た一対の丹頂鶴が乗っていた。これこそが半年前に代表団を率いて岡山を訪れた、当時中国科学院院長であった郭沫若が岡山の後楽園に贈った贈り物である。

七月四日の夕方、二羽の丹頂鶴は汽車に乗り換えて無事岡山に着いた。

三木行治岡山県知事をはじめとした岡山県人の暖かい歓迎を受けて、すでに準備万端整った後楽園の新居に移った。この中国からの使者は日本風に「チャメ」と「クロメ」と名付けられた。

一九六一年春、三木知事は岡山県の熱心な友人たちと後楽園に詩碑を建立した。郭沫若が一対の丹頂鶴を贈ると承諾した時に詠んだ五言詩が記念として石碑に刻まれていた。

後楽園仍在、烏城不可尋。
愿将丹顶鹤、作对立梅林。

（訳）後楽園はあれど、
烏城の姿は今はない

かわりに丹頂鶴をはなちて
梅林に配せん（林秀一訳）

「チャメ」と「クロメ」が日本に着いた時はまだ二歳だったため雄雌の判別ができなかった。六歳になってやっとこれが一対の姉妹であることがわかった。毎年卵を産むが、孵化することはなかった。一九七五年この一対の姉妹は北海道の釧路市動物園に送られ交配した。一九七七年

九月二十五日「チャメ」は皮膚病で死去。岡山県人はこれを剥製標本にして「鶴鳴館」に飾っている。

残った「クロメ」は一九七八年五月十四日に産卵。岡山県人の老朋友である郭沫若が病没して数日後、一対の中日友好の象徴となる新しい生命が、人口孵化により殻を破って誕生した。「クロメ」という正に世話上手の母親が、一九八〇年、一九八二年と続いて第二、第三の雛を育てた。現在「クロメ」は彼女の三羽の娘たちと一緒に静かに暮らしている。

『人民中国』五月号より転載。

筆者は郭沫若の娘で、郭沫若記念館館長の郭平英さん。

~~~~~  
なお、『人民中国』は、日本語で発行されている月刊誌で、中国文化や時事問題、中国映画や中国語の最近の情報が掲載されている。出版は北京にある『人民中国雑誌社』で、日本人編集者も参加している。一冊四〇〇円、年間購読は四八〇〇円（送料込み）。ご購読希望の方は協議会事務局までお問い合わせください。

# 日本に来てよかった

岡山大学中国人留学生 邵 婧

二〇〇七年十月二日、丁度私の誕生日だった。朝起きて、両親は悲しい顔をしていた。片付けと朝ごはんが終わって、親戚の五人と一緒に、大連空港まで行った。これは私の初飛行機の旅だ。二十三歳の私は初めて両親と離れて、自分で生活を始めた。

中国人にとって、春節というのは家族みんなで集まって、「春節聯歡晚会」を見たり、餃子などの料理を作ったり、爆竹の音で一年を明けることとなります。二〇〇八年の春節、一人暮らしの私は、五時間の「春節聯歡晚会」を見ながら、一人で餃子を作った。十二時に涙が溢れながら両親に電話した。この国と離れている春節は一番悲しかった。

二〇〇八年の五月頃、四川省大地震の募金活動に参加した私は岡山県中国留学人員友好聯誼会に入会した。

それから私はいろんな人と出会って、本当に日本に来てよかったと思ひ始めました。

二〇〇九年一月十八日私は大阪で開催された「二〇〇九西日本地区中国留学人員・学者春節聯歡会」に参加した。鄭祥林総領事の話聞いて、私たちが同じ大連外国語大学を卒業したことを知った。今まで自分がどんなことまでできるかわからない私は、総領事の姿を見て、目標を立てた。きちんと日本語を身につけ、日中交流や友好のために懸け橋の役割をしようと今思っている。これはまだ道険しい事かもしれないが、自分で一歩ずつ頑張って歩こうと思っている。

二〇〇九年一月二十五日は中国の春節だった。二〇〇八年の一人と違って、今年私は何十人と一緒に岡山県中国留学人員友好聯誼会が主催し

た春節聯歡会に参加した。また一月三十一日にNPO岡山市日中友好協会が主催した「日中友好新春互礼会」にも参加した。いろんな方々と話し合っって、さらに今後の目標が明らかになってきた。

二〇〇七年十月二日の私と今の私、いろんなことを体験し、成長している。これからもいろんな人と出会えると思う。こんな人たちから学んで、もっと充実した留学生生活をしたと思う、またさらに日中交流に力を尽くしたいと思っている。

二〇〇七年十月二日の私と今の私、いろんなことを体験し、成長している。これからもいろんな人と出会えると思う。こんな人たちから学んで、もっと充実した留学生生活をしたと思う、またさらに日中交流に力を尽くしたいと思っている。



## 協議会事務局からのお知らせ

### ●総会・理事会開催される

5月30日（土）岡山県生涯学習センターにて、会員・役員ら21名の出席のもと、平成21年度の総会・理事会が開催されました。選出された役員並びに活動方針は下記の通りです。

### 平成21年度役員

| 役 職     | 氏 名     | 所 属                 |
|---------|---------|---------------------|
| 参 与     | 中 島 博   | 岡山県経済団体連絡協議会 座長     |
|         | 岡 崎 彬   | 岡山県商工会議所連合会 会長      |
|         | 加 計 孝太郎 | 学校法人加計学園 理事長        |
|         | 片 岡 和 男 | 岡山市日中友好協会 会長        |
|         | 末 光 茂   | 社会福祉法人旭川荘 理事長       |
| 顧 問     | 門 野 八洲雄 | 岡山県教育委員会 教育長        |
|         | 福 武 總一郎 | 財団法人福武教育文化振興財団 理事長  |
| 名 誉 会 長 | 江 草 安 彦 | 川崎医療福祉大学 名誉学長       |
| 特 別 顧 問 | 森 崎 岩之助 | 岡山県日中懇話会 会長         |
|         | 黒 瀬 定 生 | 岡山県教育弘済会 理事長        |
| 会 長     | 岡 田 浩 明 | 岡山県生涯学習センター 所長      |
| 副 会 長   | 吉 田 雄 平 | 岡山県都市教育長協議会 会長      |
|         | 佐 藤 元 信 | 岡山県私学協会 会長          |
|         | 戸 村 彰 孝 | 岡山商科大学附属高等学校 校長     |
|         | 曾 田 佳代子 | 岡山市立中央中学校 校長        |
| 理 事     | 今 井 康 好 | 岡山県教育庁指導課 課長        |
|         | 武 泰 稔   | 岡山県町村教育長会 会長        |
|         | 太 田 豊 秋 | 岡山県PTA連合会 会長        |
|         | 山 本 守   | 岡山県高等学校PTA連合会 会長    |
|         | 國 友 道 一 | 岡山県高等学校長協会 会長       |
|         | 大 石 隆 夫 | 岡山県特別支援学校長会 会長      |
|         | 小 林 英 一 | 岡山県中学校長会 会長         |
|         | 大 野 光 二 | 岡山県小学校長会 会長         |
|         | 赤 堀 元 美 | 岡山県高等学校芸術文化連盟 会長    |
|         | 山 本 正   | 岡山県国際理解教育研究会 会長     |
|         | 板 野 美佐子 | 日中医療福祉研修センター 所長     |
|         | 大 川 泰 栄 | 岡山市教育委員会 教育企画総務課 課長 |
|         | 松 井 三 平 | 岡山市日中友好協会 理事（事務局長）  |
|         | 監 事     | 大 橋 典 晶             |
| 赤 松 康 弘 |         | 岡山県国際理解教育研究会 元会長    |

### ☆活動方針（抜粋）

#### ● 1 協議会設立10周年記念事業

- (1) 記念訪中団（9月19日～26日、7泊8日）連休ですので休みが取りやすい日程となっています。上海→西安→洛陽→北京を回り、岡山と中国の友好の足跡を訪ね、世界遺産の宝庫と言われる中国古都の歴史に触れる満喫の旅です。パンフレットは事務局にありますのでお問い合わせください。こぞでご参加ください。
- (2) 中国との教育交流に関する実態調査（6月「悠久」配布時に各校へ依頼）  
平成11年度に同様の趣旨の調査を実施しており、今回10年目となる。  
今後の岡山県と中国との教育交流を進める上での貴重な資料として活用したいと思います。
- (3) 記念講演会の開催
- (4) 「悠久」拡大号の発行
- (5) 特別寄付金の募集

#### ● 2 組織・財政基盤の強化

10周年を機に、会員の増強をはかり、事務局を強化する

協議会事務局 〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階  
 電話：086-225-5083 FAX：086-225-5041  
[http://www.oka-rizhongyoxie.jp/index\\_04.htm](http://www.oka-rizhongyoxie.jp/index_04.htm)  
 メール：oknittyu@yahoo.co.jp

担当：松井、平野

# 旭川荘厚生専門学院

## ●旭川キャンパス

児童福祉科  
第一看護科 第二看護科  
〒703-8560 岡山市北区祇園866  
電話(086)275-0145  
FAX(086)275-3283

## ●吉井川キャンパス

介護福祉科 福祉研究科  
精神保健福祉科  
〒704-8126 岡山市東区西大寺浜610  
電話(086)944-6911  
FAX(086)944-6922



なりたい自分、もっと夢に近くなる。

## 岡山商科大学附属高等学校



### 【進学系列】

《特別進学コース》  
《総合進学コース》  
《商大進学コース》  
《スポーツコース》

### 【商業系列】

《ビジネスコース》

### 【工業系列】

《自動車整備コース》  
《工業技術コース》

私学唯一の  
総合学科

〒700-0807 岡山市北区南方 5-2-45

TEL 086-252-3407 FAX 086-254-8864

URL <http://www.osu-h.ed.jp> E-mail [Syoudaifu@osu-h.ed.jp](mailto:Syoudaifu@osu-h.ed.jp)

学校法人 中国学園

## 中国学園大学

●現代生活学部人間栄養学科 ●子ども学部子ども学科 ●大学院(現代生活学研究科)

## 中国短期大学

●総合生活学科 ●保育学科 ●英語コミュニケーション学科  
●音楽科 ●情報ビジネス学科 ●専攻科

〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地 TEL086-293-1100 FAX086-293-3993  
<http://www.cjc.ac.jp/> E-mail [gakusei2@cjc.ac.jp](mailto:gakusei2@cjc.ac.jp)

## 岡山理科大学附属 中学校 中高一貫コース！



学校法人 加計学園 岡山理科大学附属中学校  
〒700-0005 岡山市北区理大町1番1号

TEL. : (086) 256-8517 FAX. : (086) 256-8518

学校法人 加計学園 中高入試広報室

TEL. : (086) 256-8527 FAX. : (086) 256-8526

E-mail : [kouho@ridaifu.ed.jp](mailto:kouho@ridaifu.ed.jp)



(財)全国高等学校体育連盟協賛  
インターハイ協賛

(財)日本中学校体育連盟推薦  
財日本中学校体育連盟シボルマーク付

kankō E L L E MICHEL KLEIN  
カシヨースターウェア

Sprinter Reebok SPALDING  
TRUE TO THE GAME

**OZAKI**

尾崎商事株式会社 岡山営業所  
〒701-0206 岡山県岡山市南区山田2316-28  
TEL 086(292)8255  
FAX 086(292)8266

尾崎商事株式会社 <http://ozaki.jp/>  
本社 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5F  
お客様相談室 0120-712983

赤ちゃんからお年寄りまで  
一人ひとりの「よく生きる」のために。



事業領域 教育・語学・生活・介護

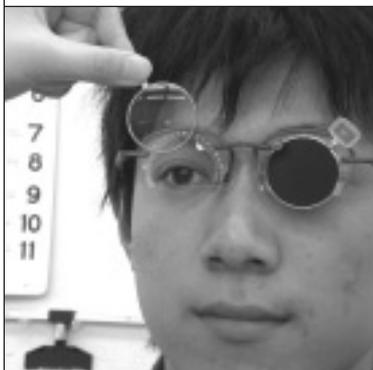
くわしくはホームページをご覧ください。

<http://www.benesse.co.jp/>

株式会社ベネッセコーポレーション

岡山本社 〒700-8686 岡山県岡山市北区南方3-7-17  
東京本部 〒206-8686 東京都多摩市落合1-34

Benesseは、ラテン語の「Bene(よく)」と「esse(生きる・暮らす)」を一語にした造語です。



学校法人 志学学園／眼鏡技術専門学校

## ワールド オプティカル カレッジ

メガネに関する「専門知識」と「最新技術」を修得した  
スペシャリスト 眼鏡技術者を育成

第一眼鏡科：高校卒業以上 3年制

第二眼鏡科：専修学校・短期大学卒業以上 2年制

(学校見学は随時受付けております)

〒703-8282 岡山市中区平井6-6-11 TEL:086-272-5566 FAX:086-272-4422 0120-88-8233

<http://www.woc.ac.jp> E-mail [woc@woc.ac.jp](mailto:woc@woc.ac.jp)

おかげさまで20周年！

## アジア・コミュニケーションズはあなたのツアーデスク！

- 岡山発着航空機の手配いたします！  
中国東方航空で上海・大連・北京へ！  
大韓航空で韓国ソウルへ、仁川空港経由で中国各地へ！
- お得なパッケージツアー（上海・大連・青島・など）
- 特徴あるこだわりのツアー  
シルクロード、チベット、雲南、内モンなど  
皆様のご要望に沿った旅行企画をいたします。  
安心の添乗員同行ツアーです
- 日中教育交流のサポート  
企画から旅行実施、添乗までサポートします。

○お気軽にお問合せ下さい



株式会社アジア・コミュニケーションズ  
ASIA COM 観光庁長官登録旅行業第1816号 ©JATA正会員 IATA公認  
岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル4F(〒700-0902)  
TEL (086) 222-7722 FAX (086) 222-7732  
<http://www.asicom.co.jp> Eメール [info@asicom.co.jp](mailto:info@asicom.co.jp)



岡山県日中教育交流協議会

岡山県日中教育交流協議会 会報 『悠久』 第29号

発行：平成21年6月

発行者：岡山県日中教育交流協議会 編集委員会

〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階

TEL (086) 225-5083 FAX (086) 225-5041

印刷所：旭総合印刷株式会社